

# 蔵出しお宝ニュース

— 第 50 号 —

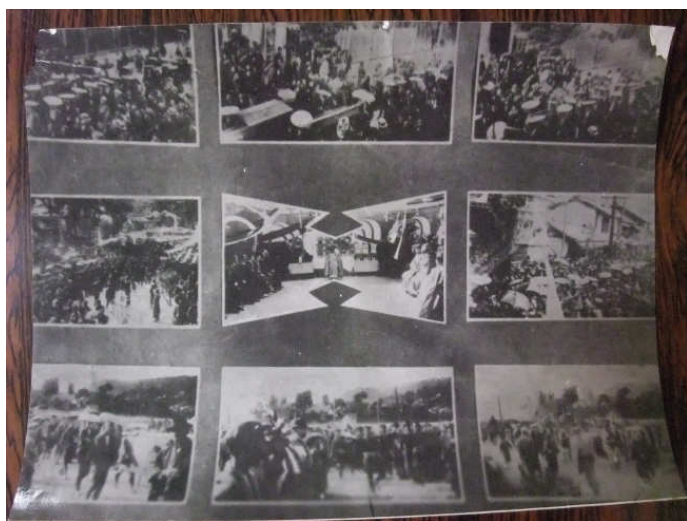
三原市歴史民俗資料館では、所蔵資料の本格的な整理・展示のリニューアルに取り組んでいます。本紙では、資料館内で永らく眠っていた三原市ゆかりの貴重な資料の解説と行事の案内・紹介などを随時行って参ります。

## あさのただよし 「浅野忠吉公三原入城 300 年記念祭」の写真を確認！

平成 27 年 6 月上旬、大正 9（1920）年に開催された、「浅野忠吉公三原入城 300 年記念祭」の様子を撮影した写真のアルバムを接写したものを 1 枚確認いたしました。

浅野忠吉は天文 16（1547）年に尾張（現在の愛知県）で生まれ、織田信長に仕えていましたが、従兄弟の浅野長政が大津（現在の滋賀県大津市）の城主になった時、長政の国老になりました。慶長 5（1600）年、忠吉は新宮（現在の和歌山県新宮市）28,000 石の城主となりました。福島正則の改易の後、元和 5（1619）年に浅野長晟<sup>ながあきら</sup>が 420,000 石の領主として広島城に入り、忠吉は禄高 30,000 石で、広島浅野宗家の筆頭家老を務め、三原城主となりました。それより 12 代忠英まで、三原浅野家が三原城を守りました。

大正 9（1920）年 10 月 18 日に、「浅野忠吉公三原入城 300 年記念祭」が妙正寺で盛大に行われました。ただし、実際の 300 年にあたるのは前年の大正 8 年ですが、浅野家に不幸があったため翌年に延期になったようです。『芸備日日新聞』には「名物ヤツサ踊りその他種々余興で三原町は空前の賑い」と紹介されています。



（上）「浅野忠吉公三原入城 300 年記念祭」の様子を撮影した写真

今回確認いたしました写真には時代行列や、祭典の様子が写っています。注目すべきは中央の写真の台紙が、三原浅野家の馬印・紋所<sup>うまじるし もんどころ</sup>として使われた杵<sup>きね</sup>の形にデザインされていることです。大変に手間のかかった仕上がりです。

前号で紹介いたしました三原城の古写真同様、今回の写真も、接写して現像したものです。資料館では、この写真の原本のアルバムを探しております。ご所蔵の方がいらっしゃいましたら、ぜひご一報いただければ幸いです。

# 夏休み子ども体験講座を開催します



(上) 昨年度の講座の様子

毎年恒例の夏休み子ども体験講座を開催いたします。夏休みの思い出作りにぜひご参加ください。講座の内容は次のとおりです。

第1回 「七宝焼を作ってみよう！」

日 時 平成27年7月29日(水)

13:30~15:00

場 所 三原市歴史民俗資料館

内 容 金属工芸の一種で、完成すると大変美しい七宝焼を作る。

講 師 脇まどか

定 員 10名(申込先着順)

材料費 500円

第2回 「手ぬぐいを染めてみよう！」

日 時 平成27年8月5日(水)

13:30~15:00

場 所 三原市歴史民俗資料館

内 容 染色と布・着物の歴史を学び、手染めの手ぬぐいを作る。

講 師 山崎愛一郎

定 員 15名(申込先着順)

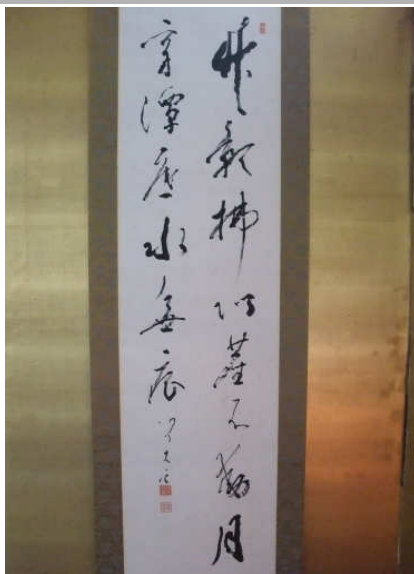
材料費 100円

対象 小学生

申し込み先 三原市教育委員会 文化課

0848-64-9234

おき どこ しゅん じゅう  
置 床 春 秋



掛物 榑崎 一光 筆

竹影、階を拂って塵動かず  
月、潭底を穿って水に痕無し

## 訂正

前号裏面の4行目「たぶんやぐら」とルビをつけておりましたが、正しくは「たもんやぐら」です。訂正してお詫び申し上げます。

発行 平成27(2015)年 7月7日

〒723-0015 三原市円一町二丁目3番2号

三原市歴史民俗資料館

TEL 0848-62-5595

※本冊子に掲載の写真などは、許可なく転用なされないようお願い申し上げます。